

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成21年3月19日(2009.3.19)

【公開番号】特開2006-223874(P2006-223874A)

【公開日】平成18年8月31日(2006.8.31)

【年通号数】公開・登録公報2006-034

【出願番号】特願2006-41763(P2006-41763)

【国際特許分類】

A 6 3 B 37/00 (2006.01)

A 6 3 B 37/08 (2006.01)

【F I】

A 6 3 B 37/00 L

A 6 3 B 37/08

【手続補正書】

【提出日】平成21年2月2日(2009.2.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

センター、カバー層およびこれらセンターおよびカバーの間の少なくとも 2 つの中間層を具備する多層ゴルフボールにおいて、

当該ゴルフボールの各サブアセンブリの総反発係数の値が、当該サブアセンブリにつぎの外側の層を加えたものの総反発係数の値より、少なくとも、0.003 だけ小さく

、

上記サブアセンブリは少なくともセンターを有し、

上記センターの反発係数の値は 0.800 未満であることを特徴とする多層ゴルフボール。

【請求項 2】

センター、カバー層およびこれらセンターおよびカバーの間の少なくとも 2 つの中間層を具備する多層ゴルフボールにおいて、

当該ゴルフボールの各サブアセンブリの総反発係数の値が、当該サブアセンブリにつぎの外側の層を加えたものの総反発係数の値より、少なくとも、0.003 だけ小さく

、

上記サブアセンブリは少なくともセンターを有し、

1 のサブアセンブリからつぎに大きいサブアセンブリへの反発係数の変化が、当該つぎに大きいサブアセンブリの厚さ当たりで、1000 分の 2.54 cm (1 インチ) あたり 0.00010 未満であることを特徴とする多層ゴルフボール。

【請求項 3】

センター、カバー層およびこれらセンターおよびカバーの間の 1 の中間層を具備する多層ゴルフボールにおいて、

当該ゴルフボールの各サブアセンブリの総反発係数の値が、当該サブアセンブリにつぎの外側の層を加えたものの総反発係数の値より、少なくとも、0.015 だけ小さく

、

上記サブアセンブリは少なくともセンターを有し、

1 のサブアセンブリからつぎに大きいサブアセンブリへの反発係数の変化が、当該

つぎに大きいサブアッセンブリの厚さ当たりで、 $1000$ 分の $2.54\text{ cm}$  ( $1$ インチ)あたり $0.00020$ 未満であることを特徴とする多層ゴルフボール。

【請求項 4】

各サブアッセンブリの総反発係数の値が、当該サブアッセンブリに、つぎの外側の層を加えたものの総反発係数の値より、少なくとも、 $0.018$ だけ小さい請求項 3 記載の多層ゴルフボール。

【請求項 5】

各サブアッセンブリの総反発係数の値が、当該サブアッセンブリにつぎの外側の層を加えたものの総反発係数の値より、少なくとも、 $0.020$ だけ小さい請求項 3 記載の多層ゴルフボール。

【請求項 6】

反発係数の上記変化が $1000$ 分の $2.54\text{ cm}$  ( $1$ インチ)あたり $0.00030$ 未満である請求項 3 記載の多層ゴルフボール。

【請求項 7】

反発係数の上記変化が $1000$ 分の $2.54\text{ cm}$  ( $1$ インチ)あたり $0.00040$ 未満である請求項 2 7 記載の多層ゴルフボール。

【請求項 8】

センター、カバー層およびこれらセンターおよびカバーの間の少なくとも 2 つの中間層を具備する多層ゴルフボールにおいて、

当該ゴルフボールの各サブアッセンブリの総反発係数の値が、上記センターについて  $COR_C$ 、上記センターに隣接する第 1 の中間層を伴う第 1 のサブアッセンブリについて  $COR_{C1}$ 、上記第 1 の中間層に隣接する第 2 の中間層を伴う第 2 のサブアッセンブリについて  $COR_{C2}$ 、上記カバーを含む上記ゴルフボールについて  $COR_{C3}$  とすると、

$$COR_C - COR_{C1} - 0.003、$$

$$COR_{C1} - COR_{C2} - 0.003、$$

$$COR_{C2} - COR_{C3} - 0.003$$

を満たし、かつ、

$COR_C$  が  $0.780$  より小さく、 $COR_{C3}$  が少なくとも  $0.805$  であることを特徴とする多層ゴルフボール。

【請求項 9】

センター、カバー層およびこれらセンターおよびカバーの間の少なくとも 2 つの中間層を具備する多層ゴルフボールにおいて、

当該ゴルフボールの各サブアッセンブリの総反発係数の値が、上記センターについて  $COR_C$ 、上記センターに隣接する第 1 の中間層を伴う第 1 のサブアッセンブリについて  $COR_{C1}$ 、上記第 1 の中間層に隣接する第 2 の中間層を伴う第 2 のサブアッセンブリについて  $COR_{C2}$ 、上記カバーを含む上記ゴルフボールについて  $COR_{C3}$  とすると、

$$COR_C - COR_{C1} - 0.003、$$

$$COR_{C1} - COR_{C2} - 0.003、$$

$$COR_{C2} - COR_{C3} - 0.003$$

を満たし、かつ、

$COR_C$  が  $0.780$  より小さく、さらに、

1 のサブアッセンブリからつぎに大きいサブアッセンブリへの反発係数の変化が、当該つぎに大きいサブアッセンブリの厚さ当たりで、少なくとも  $1000$ 分の $2.54\text{ cm}$  ( $1$ インチ)あたり少なくとも  $0.00015$  であることを特徴とする多層ゴルフボール。

【請求項 10】

反発係数の上記変化が $1000$ 分の $2.54\text{ cm}$  ( $1$ インチ)あたり少なくとも  $0.00025$  である請求項 9 記載の多層ゴルフボール。